

音楽科学習指導案

対象

小学校3年生以上

内容・領域

B鑑賞 ア観賞領域における「思考力、判断力、表現力等」

音楽表現を考えて表現に対する思いや意図をもつことや、曲や演奏のよさなどを見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。

※扱う観賞教材によって、授業内容をアレンジをしてお使いください。

ねらい

- <AIAI モンキー>を使用することにより、感じたことを言葉で表し、他者と共有できるようにする。
- <AIAI モンキー>を使用することにより、多様な聴き方、感じ方があることを理解することができる。
- 感じたことを表現する仕方は一通りでないことに気づき、自分だけの言葉で音楽の豊かさを考えることができる。

本時の展開 (45分)

時配	主な学習活動と発問	指導上の留意点など	児童生徒の予想される反応
5分	◎曲を聴いて感じたことや、気づいたことを書いてみましょう。 ・本時で扱う鑑賞教材を聴く。	・リズム、曲調、テンポなどクラスの実態に応じて教師が観点を示しても良い。 ・ワークシートにメモをさせる。	
5分	・みなさんいろいろなことについて感じたり、気づいたりしたと思います。 ◎気づいたことを<AIAI モンキー>に書いてみましょう。	・<AIAI モンキー>を使用して、設問「曲を聴いて、感じたことや気づいたことを書きましょう」に自由に記述させる。 ・先に書いたワークシートをもとに記述させる。	曲によって様々な感想が出るのが予想される。 ・ゆっくり、速い、遅い ・強い、弱い ・楽しい、明るい、元気だ、迫力がある、おちつく ・たくさんの音、いろいろな楽器、耳に残る

			・ジグザグ、ふわふわ、さわやか、うるさい
15分	◎ <u>クラスメイトの意見を見てみましょう。自分とは違った意見や、次に聴くときに注目してみたいと思った意見はありますか？</u>	・<わくわくの実>や<意見分類>を自由に見てもらう。 ・少数意見にも焦点を当て、次に聴くときに気をつけたい点を決める。	・「だんだん大きくなっている」というのはどのあたりのことだろうか？ ・「明るい」雰囲気を感じられたのはなぜだろうか？ ・自分は「迫力がある」と思ったが「おちつく」と感じる人もいた。
10分	◎「○○」という部分に着目してみんなでもう一度聞いてみましょう。 ・もう一度、観賞教材を聴く。	・<わくわくの実>などをもとに、クラスあるいは個人で、次に注意して聴いてみたい点を決める。 ・同じ曲をもう1度聴く。	
5分	・最初に聴いた時と比べて、感じ方はどう変わりましたか？ ◎気づいたことを、もう1度<AIAI モンキー>に書いてみましょう。	・<AIAI モンキー>を使用して、設問「曲を聴いて、感じたことや気づいたことを書きましよう②」に自由に記述させる。	・どこが「明るい」と感じさせるのか分かった。 ・ポイントを決めて聴いたので、よく聴けた。 ・同じ音でも色々な感じ方があると思った・
5分	◎ <u>クラスメイトの意見を見てみましょう。最初に聴いた時と感じ方はどのように変わっているでしょうか？</u>	・<わくわくの実>や<意見分類>を自由に見てもらう。 ・1度目の意見と比べたりする。	
5分	・同じ曲でも、色々な感じ方があることが分かりましたね。 ・自分が感じたことを言葉で伝え合おうと、より深く観賞できるようになりますね。 ・本時の振り返りを書きましよう。	・<AIAI モンキー>の<振り返り>に、本時の振り返りを書かせる。 ・ワークシートに書かせてもよい。	

<AIAI モンキー>活用の意図やポイント

鑑賞の指導では、子どもたちの一人一人の意見を十分に確認しづらいという課題がある。AIAI モンキーを活用することで、短時間で子どもたちの意見をすべて可視化することが可能となる。また、鑑賞において、子どもたちの感じ方は多様である。一人一人の気づきを共有することで、「そのような視点もあったのか」と新たな発見へとつながり、対話へとつなげることもできる。鑑賞を個人の活動にするのではなく、クラス全体の活動にするというポイントをふまえ、<AIAI モンキー>を有効活用してほしい。